

## 日本医歯薬専門学校 2019年度 学校関係者評価委員会 議事録

作成者:矢野 裕己

日 時	2019年6月16日(日) 10:00 ~ 12:00
場 所	日本医歯薬専門学校 202 教室
参 加 者	<p>●学校関係者評価委員会 委員 =敬称略=</p> <p>&lt;保護者代表&gt; 淵上 真弓(歯科衛生士学科Ⅰ部2年生 祐衣 母)</p> <p>&lt;地域代表&gt; 糟谷 一(杉並区町会連合会、高円寺中央地区町会連合会、高南二丁目町会)</p> <p>&lt;高等学校代表&gt; 及川 勉(昭和第一学園高等学校 元校長)</p> <p>&lt;卒業生代表&gt; 下里 保奈美(歯科衛生士学科Ⅱ部 卒業生)</p> <p>&lt;業界代表&gt; 飯島 裕之(杉並区歯科医師会)</p> <p>&lt;業界代表&gt; 富田 基子(東京都歯科衛生士会)</p> <p>&lt;業界代表&gt; 長面川 さより(株ウォームハーツ)</p> <p>●学校法人東京滋慶学園 関係職員</p> <p>&lt;理事長&gt; 中村 道雄</p> <p>&lt;学校長&gt; 須田 英明</p> <p>&lt;教育顧問&gt; 近藤 健示</p> <p>&lt;事務局長&gt; 山崎 彰</p> <p>&lt;教務部長&gt; 富田 恒雄</p> <p>&lt;教務部 歯科衛生士学科長&gt; 矢野 裕己</p> <p>&lt;キャリアセンター長&gt; 豊島 義人</p> <p>&lt;学生サービスセンター長&gt; 保科 英俊</p> <p>&lt;広報センター&gt; 後藤 悠子</p>
議 題	進行:山崎
1. はじめに (須田学校長)	<p>おはようございます。</p> <p>評価委員の皆様におかれましては、梅雨時の晴れ間、大変お暑いなか、また、今年も半ばを終わろうとしている大変お忙しいなか、日曜日にも関わらず、学校関係者評価委員会にご出席いただきまして大変ありがとうございます。私も評価委員の皆様と同じように、かつて、国内外の教育機関を訪れて、教育の評価をさせていただいたことがございます。その経験からも学校というところは、中の人間が見るよりも、外の評価委員の方々に色々ご意見をいただいた方が良く見えることが多々あると思いますし、また評価を受ける側といたしましても、外からの評価委員の声がありますと、中を変えやすいということがございますので、今日はどうか皆様から忌憚ないご意見を皆様から頂戴して教育の質の評価に役立たせていただきたいと思います。どうかこれからの時間よろしくお願いいたします。</p>
2. 学園組織担当者紹介 (山崎)	各紹介
3. 学校関係者評価委員 ご紹介(山崎)	各代表者様ご紹介
4. 2018年度 事業報告(山崎)	<p>【資料『2018年度日本医歯薬専門学校 事業報告資料』参照】</p> <p>・【広報】 学校全体 入学目標 250名に対して、入学実績 242名 5学科のうち、3学科が定員充足</p> <p>・【教育】 目標退学者率 3.6%、中途退学者率 6.1% 主に1年生のD0が多かったことから、導入教育時に、危険要素の抽出はできていたが、どのタイミングでサポートしていくかが課題</p> <p>歯科衛生士国家試験 100%、視能訓練士国家試験1名不合格</p> <p>・【就職】 離職率 3.8%、内定時期が大幅に遅れるも、就職希望者に対しては就職率 100% 早期に内定させること、卒業生全員が就職内定することが課題</p>
5. 2018年度	【資料『前回学校関係者評価委員会 御意見・評価結果をうけて』参照】

自己点検・自己評価  
(山崎・富田・豊島・  
保科・後藤)

昨年度ご意見をいただいた内容を一覽にし、意見を踏まえて振り返りをしたものをまとめ、これをもとに今後、学校運営をよりよいものにしていく資料とし、蓄積していく。

【資料『2018 年度日本医歯薬専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料』参照】

(会議内でのご説明は会議資料の内容とさせていただきます、委員の皆様には、質疑応答をいただくと共に、ご意見・評価をご提出いただく)

- ・1. 教育理念・目的・育成人材像(1-1-1・1-1-2・1-1-3・1-1-4)
- ・2. 学校運営(2-2-2-3・2-4・2-5・2-6・2-7)
- ・3. 教育活動(3-8-1・3-8-2・3-9-1・3-9-2・3-9-3・3-9-4・3-10・3-11・3-12-1・3-12-2・3-12-3)

(昨年度の評価結果をもとに改善していくのか)

キャリア開発 ⇒ 社会人の学び直しをいかに支援していくか、氷河期世代のサポート  
卒業支援 ⇒ 個別指導が重要。

キャリアコンサルタントの配置を 2019 年度は3名配置(常勤2名、非常勤1名)に変更した

- ・4. 教育成果(4-13・4-14・4-15)
- ・5. 学生支援(5-16・5-17・5-18・5-19-1・5-19-2・5-19-3・5-19-4・5-20・5-21)
- ・6. 教育環境(6-22・6-23・6-24)
- ・7. 学生の募集と受け入れ((7-25・7-26・7-27)
- ・8. 財務(8-28-1・8-28-2・8-29・8-30・8-31)
- ・9. 法令等の遵守(9-32・9-33・9-34-1・9-34-2・9-34-3・9-34-4・9-35)
- ・10. 社会貢献(10-36-1・10-36-2・10-37)

## 6. 質疑応答(山崎)

(及川様) 全体的には評価3。良くなっているが、退学と就職が課題ではないか。

就職については、ひとつの部署だけでなく、多方面から関わる必要があるのではないかと  
退学について 関連性が何かあるのか

入学式に参加したが、感銘を受けた。学校のビジョンがしっかりしている。

学生のプレゼンテーションがよかったので、継続していただき、ぜひ反映させてほしい。

(粕谷様) ボランティア活動に関しては、申し分ない。それ以上に活動していただいている。

びっくり大道芸には、100 名を超えるボランティアに協力していただいた。

地域に密着した中に馴染むような活動に参加しながら学べることは大きい。

【情報提供】

防災) 令和2年4月から杉並第8小学校が閉校になり、高円寺学園という小中一貫校になるため、避難所として使用できなくなるため準備が必要。

現在、要望を提出しており、杉並第8小学校跡地に、図書館ができる予定。

(高円寺図書館が移動してくる) 高齢者・子どもへの対策

防災倉庫を設置、現グラウンドと同じ面積の防災公園の施設設置 要望

避難所の候補として、高円寺体育館、高円寺女子学園のグラウンドなど。

● 留学生は、どのくらいの言葉の能力があるか、卒業生がどのようなところに就職しているか、母国に帰るのか、情報提供してほしい。

【情報提供】

2018年9月に、語学研修をする学校として高円寺国際学園が開校し、30 数名在籍。ヨーロッパ、アメリカ、台湾、タイ、インドネシア、ベトナム等からの留学生が在籍している。その中から、キャリアを高めるために専門学校等に進学希望をする学生が増えてくる可能性もある。

→(山崎) 中・長期的に留学生の受入を特に歯科衛生士の養成学科で考えており、

日本語能力検定2級以上、資格取得後は、医療就労ビザで日本で働ける。

歯科医療現場でも外国人の患者さんが増えていることから、時代の変化に対応すべく、留学生の受け入れを計画的にやっていきたい。

(学校長) ●実績として、外国人留学生は、母国に帰るのか、日本で働いているのか。

→(山崎) 日本で働いている中国人の卒業生が2名いる。  
在籍している中国人の学生は2名いる

(学校長) ●避難所については、行政から連絡がきているのか

→(山崎) 行政とのすり合わせが必要

(学校長) 学生便覧や教育指導要領を変更しなければならない

(粕谷様) 跡地については、令和2年から、具体的な内容について確認ができると思う

(淵上様) この学校に入学させてよかった。現在海外研修に参加しているが、とても勉強になっている様子でした。保護者としては凄く安心している。

(下里様) 夜間部だったので、キャリアコンサルタントがいることを在学中は知らなかった。

●学生にはどのように告知しているのか

→(豊島) コンサルタントがいるのは日中だったため、今年度は常勤コンサルタントが夜間部の学生対応をしている。  
4~6月でオリエンテーションを行って、6月に2回目のガイダンスを実施。  
Webでも求人を見ることができるようにしている。

(下里様) 3年次になってからキャリアセンターの先生と関わるのではなく、早期から関わりができるとうよいと思った。社会人基礎力についてもっと早くに指導してほしい。

(飯島様) 東京都立は学生募集停止。

留学生の受入に向けて、準備をしている。

働き方改革はできているのか。

教職員の体調が崩れると学生に影響があるのでご留意を…。

●退学率を下げたい

→(富田) 受験の面接時に、入学後、問題が起きそうな課題については、入学までに確認している。入学直後はモチベーションが高いが、長期休暇があると意識の低下が見られる。学科によっては、年4回定期面談をしっかり行っている。

退学理由としては、学力不安から身体的に登校できなくなるケースや学費不安により休学・退学になってしまうケース、メンタル面がある。女性が多いため、妊娠出産による休学退学してしまうケースがある。(退学4大要因) 学力不安、精神的、学費、妊娠出産それぞれ対策を立てて、スタッフが連携をして退学者ゼロに向けて対応していく。

(富田様) ●国家試験は全員合格とのことだが、未受験の学生はいたのか、その理由は何か。

→(富田) 昼夜間部 それぞれ1名ずつ、卒業できず未受験。

理由) 卒業判定試験に不合格だった

長期履修生として、現在、無償でサポートをしている

キャリアコンサルタントを迅速に配置したのは素晴らしい。

(長面川様) ●卒後教育は、どのように行っているのか

→(豊島) 卒後教育を開始して3年目。経験年数ごとに求めていることが違うが、職種ごとに実施している。歯科衛生士学科では、テーマを絞って設定し、参加しているため、アラカルトに実施できていない。

昨年度は、1期生~10期生まで幅広い卒業生に参加してもらうことができた。

●5月前後のカリキュラム内容、資格取得に向けての取り組みについて

→カリキュラムは、午後の会議(教育課程編成)の中で確認させていただく

7. 事務連絡(山崎)	・評価シート記入・提出について ・日当交通費について ・評価シート、日当交通費提出期限;6/30 までに、郵送または持参
8. おわりに (中村理事長)	日曜日のお休みのところ、長時間にわたり、ありがとうございます。 皆様からいただいた貴重なご意見をしっかりと取り入れて改革していきたい。 先月、高等教育における無償化に向けての法案が参議院を通過して、来年の4月から援助が出ることになった。収入制限があるが、貧しい家庭に生まれた方が進学や就職ができないという貧困の連鎖を断ち切るための目的で、法案が通ったが、どの学校でもよいわけではない。 指定の学校になれる3年間収支決算が赤字になっていないか、学生募集が充足しているか、職業実践専門課程の指定講座になっているか、が要件になっている。 このような会議を行って文科省に報告することが大きな条件となっているため、本校の場合はすべてクリアできている。来年度からは、高等教育無償化の指定校になることを宣伝できる。 今後ともご支援よろしく願いいたします。ありがとうございました。

以上